



通常例会

司会

点鐘 12:30

《本日のゲスト》

電算印刷(株)本社営業部マーケティング室

プロダクトマネージャー 山崎 悠 様

松本城 RC : 藤田ひろ子会長 松島憲司幹事

ホテル・ブエナビスタ

越場会場監督委員長

小林正樹会長

《RLI 修了書授与》

小林正樹会長



会長挨拶

小林会長

本日は松本城ロータリークラブから、藤田ひろ子会長と松島憲司幹事がお越しです。松本城 RC は平成7年(1995年)当クラブがスポンサーになり創立さ

れ、本年度28年度を迎えられます。松本 RC とともに親戚関係になりますので、これからも密接な連携活動と、引き続きのご親交をお願い申し上げます。

さて前回例会時は安倍前首相銃撃事件という大変ショッキングな出来事がありました。人の「生きざま」「死にざま」という言葉を耳にするわけですが、本来「生きざま」という言葉はなく「死にざま」から派生した言葉のようです。そしてもう一つ思い浮かんだ言葉があります。「虎は死して皮を留め、人は死して名を残す」。故人に心からご冥福をお祈りいたします。

話を変えます。ピコ太郎の P P A P という歌がありました。昨日は小池百合子都知事が4回目のコロナワクチンを接種して、「P P M M」だと言っていました。私は今日この後4回目を接種しますので「P P M P」になります。

先週になりますが、今月9日~10日、コロナ禍の影響で3年ぶりに開催された日本水泳連盟の会議に参加しました。この会議は毎年東京で開催され、水泳の指導者養成を担当する長野県の委員長として出席しましたが、先月末から今月初旬にハンガリーブダペストで開催された水泳世界選手権で選手・コーチにコロナ感染者が相次ぎ、帰国が遅れたため鈴木大地会長がこ

の会議に参加ができず残念ながらお会いできませんでした。感染したり濃厚接触の選手・コーチも今週にやっと帰国できたそうですが、コロナ禍の第7波は確実に私たちにも迫っていると感じます。この東京での会議の名称は「全国地域指導者委員長会議」ですが、内容としては「スポーツとモラル」に関することで、スポーツ指導者対象の「コンプライアンス教育」が中心になりました。コンプライアンス教育は企業や教育現場をはじめ社会全体のあらゆる場面で欠かせませんが、とりわけスポーツ現場での「愛のムチ」という考え方は不適切な指導であり、医・科学的にも全否定をされているところです。半面「愛のムチ」というと、短い日本語ながら、日本人はその意味や加害者・被害者の心情を押し量ることができ、こういう曖昧なところが問題の本質に関わっているのかもしれない。いじめ、虐待、嫌がらせ、差別...これらを欧州で、また日本スポーツ協会では「BAHD (バード)」と呼び「BAHD 防止」を呼びかけています。

「BAHD」は、Bullying(いじめ)、Abuse(虐待)、Harassment(ハラスメント/嫌がらせ)、Discrimination(差別)の頭文字であり、個人の人権や尊厳を不当に侵害する行為全般を指します。

私はスポーツとモラルに関するキーワードは、「ハラスメント」「ガバナンス」「コンプライアンス」だと思います。P P A Pではありませんが横文字、頭文字を並べる言葉はこれからも一層増えることでしょう。という私の職場も、Swimming、Aerobics、Machin-Gym の頭文字をとって「SAM」でした。本日はこのあと、山崎悠さんから「SDGs」(Sustainable Development Goals)のお話を伺います。よくお聞きして、明日からの奉仕活動に邁進したいと思います。

幹事報告

小笠原幹事

1. 次週22日はクラブ定款による休会です。その翌週29日は「納涼家族会」です。新型コロナウイルス感染拡大状況により変更が生じた場合は、追ってご連絡致します。
2. 本日配布のガバナー月信は、昨年度桑澤ガバナー年度の最終号です。
3. 例会変更については、引き続き感染予防の観点から現在どのクラブでもビジター受付は実施されていません。ご了承下さい。

